



平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
グループ総務・CSR部長 原 雄三
(TEL . 03-6735-1001)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 30 日に公表した平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,790,000	百万円 115,000	百万円 90,000	百万円 52,000	円 銭 14.88
今回修正予想 (B)	1,790,000	125,000	110,000	65,000	18.59
増減額 (B-A)	0	10,000	20,000	13,000	
増減率 (%)	0.0	8.7	22.2	25.0	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	1,713,457	91,541	67,129	39,239	11.24

(2) 修正の理由

前回発表予想と比べて、連結売上高は、航空事業における貨物収入の伸び悩みや、欧州におけるテロの影響を受けた旅行事業の取扱高減少があったものの、航空事業における国際線旅客収入が堅調に推移していること等から据え置いております。連結営業利益は、航空関連事業における連結子会社 Pan Am Holdings, INC. の株式取得時に計上したのれんの未償却残高を一括償却しましたが、燃油費を中心とした費用抑制が見込まれること等により、約 100 億円の増加となる見通しです。

連結経常利益は、営業利益の増加に加え、金融収支の改善、航空機及び部品の除売却損益の改善等により約 200 億円の増加となる見通しであり、特別損益、税金費用等を調整した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は約 130 億円の増加となる見通しです。

これらの結果、平成 28 年 3 月期の連結業績予想につきまして上表のとおり修正いたします。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上